古仁屋高校 活性化対策通信

～高校生がシマの未来を創る！～

〈令和7年度第1号〉

古高生の“やってみたい！”が動き出す。

ざ・シマ学、春の実践をご紹介！

今年度も、地域を知る学びの場「ざ・シマ学」が元気に始動しています。今回は、春に行われた2つの取り組みをご紹介します。ひとつめは、せとうちミライラボの初企画「西古見で春キャン！」。このせとうちミライラボは、昨年11月に子どもたちの提案で立ち上がった自主プロジェクトです。目的は、①瀬戸内町の魅力を学ぶイベントを自分たちで企画・運営すること、②2525を活用してその魅力を広く発信すること。今回のデイキャンプでは、講師のオファーや協力依頼、役場への説明、当日のスケジュール作成から進行まで、すべて古高生たちが手がけました。5月17日にA8さんと高田さんを講師に迎え、春の西古見でフィールドワークと2525講座を実施。2525では大きな反響を呼び、リール動画の総再生回数は3，000回を超えました！みなさんもぜひinstagramをフォローして、彼らの活躍を応援してください！ふたつめは、5月11日に行われた「奄美の発酵ソウルドリンクみき、つくろ～」。地域おこし協力隊の野崎さんを講師に、奄美の伝統的な発酵飲料“みき”を手づくりしました。子どもたちは材料を混ぜながら、奄美の食文化や発酵の知恵、そして島に受け継がれる心の豊かさにふれました。

総務企画課　企画係

みきづくりの様子

@AMAMI.SETOLAB

せとうちミライラボ Instagram

高校生が“誇れる”海を守る！

海っ子クラブ、清水海岸で安全祈願

瀬戸内町の清水海岸で、奄美せとうち観光協会主催の海開き安全祈願祭が開催されました。神事に先立って、古仁屋高校生や地域住民によるビーチクリーンが行われ、浜辺を清めたあと、無事故と安全を祈る神事が執り行われました。清掃活動には「海っ子クラブ」の海洋保全チームメンバーも参加。海っ子クラブは、子どもたちに地元の海に誇りを持ってもらいたいという想いから、奄美せとうち観光協会が立ち上げた取り組みで、サンゴの白化調査や商品開発など多彩な活動を行っています。古仁屋高校2年の三島海輝さんは「予想よりゴミが少なく、島の人たちが海を大切にしてくれていると感じた。」と語ってくれました。

神事の後、SUPを楽しむ海っ子クラブの子どもたち

ようこそ瀬戸内町へ！地域みらい留学生が仲間入り

この春、関東から4人の地域みらい留学生が古仁屋高校にやってきました。最初は緊張した表情を浮かべていましたが、先輩たちとウェルカムパーティーでは、夕食を囲んで語り合い、一緒に踊るうちに、笑顔がこぼれるようになりました。毎年恒例の「清水クエスト」では、地域を歩いて学びながら、町の人たちとふれあい、地元の方々が営む「まねきや」でのお手伝いにも挑戦。すでに地域と積極的に関わろうとする姿が印象的です。これからの学校生活や地域での活動がとても楽しみです。町で見かけたら「地域みらい留学生かな？」と思って、ぜひ気軽に声をかけてあげてくださいね。町のみなさんの温かい応援が、彼ら・彼女らの力になります！

清水クエストに挑む新入寮生たち

ウエルカムパーティーの様子

コーディネーターのつぶやき

こんにちは！古仁屋高校支援コーディネーターの細谷です。先日、「せとうちフクシ未来フェスタ」で『ナンコ体験』を企画しました！子どもたちは奄美の伝統的な遊び「ナンコ」に夢中。何度も挑戦したがる子もいて、会場は大いに盛り上がりましたー！フェスタには、小さな子どもからご年配の方まで幅広い世代が集まり、「瀬戸内町にも、年齢や立場を超えて集える“みんなの居場所”がもっとあればいいな」と改めて感じました。実はいま、町に“駄菓子屋&居場所”をつくる計画を進めています！「ちょっと寄ってみようかな」そんな気軽な場所を目指して、一歩ずつ取り組んでいます。どんな形でもかまいません、応援していただけたらうれしいです！

@AMAMI_MIRAISOUZOU

ナンコで遊ぶこどもたち

下宿大募集！

総務企画課企画係では下宿をやって下さる方を募集しています！どうぞお気軽にご相談ください。

連絡先：瀬戸内町役場　総務企画課
企画係　森・細谷
電話番号：0997－72－1112